

身の回りの液体は酸性・中性・アルカリ性？

八代市立松高小学校 6年 本田 遥

1 研究の目的

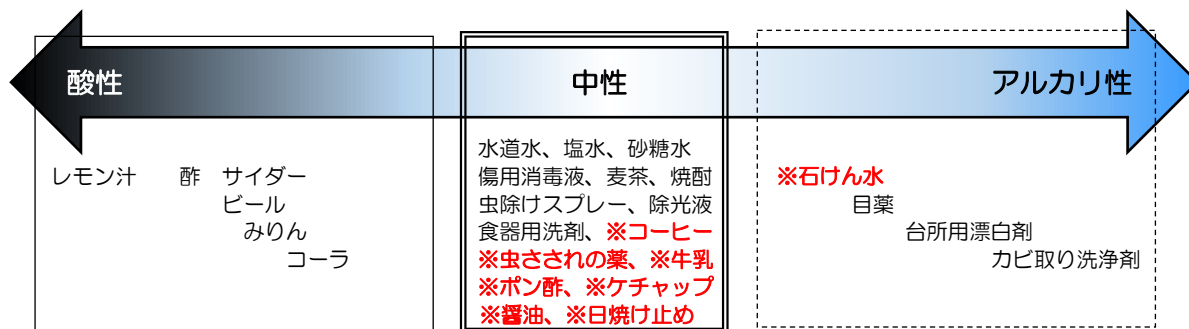
身の回りの液体の液性（酸性・中性・アルカリ性）を調べる。

2 研究の方法

- (1) ムラサキキャベツの液やブドウの皮の液を試験薬として使い、身の回りの水溶液の液性を調べる。
- (2) ムラサキキャベツ水溶液の作り方を工夫して、試験薬としての精度を高める。
- (3) ムラサキキャベツの液やブドウの皮の液、ブドウジュースを紙に染みこませて試験紙を作り液性を調べる。

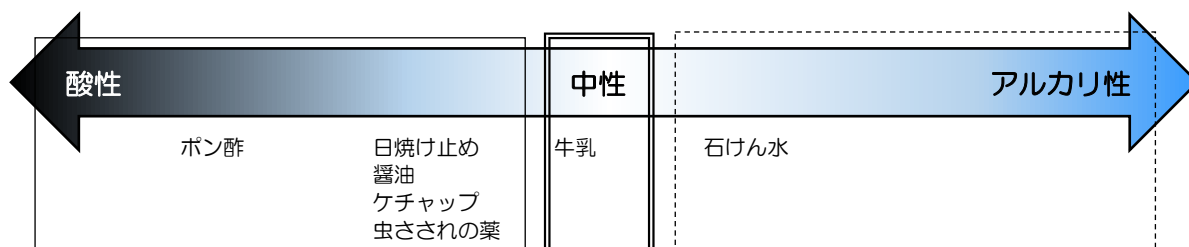
3 実験の結果

- (1) ムラサキキャベツ水溶液と薄いムラサキキャベツ水溶液で実験した。



※の印がついているものは、判別にばらつきが出たもの

- (2) 判別にばらつきが出たものをブドウの皮の液で実験した。



△コーヒーは黒っぽい色から変化せず、判別できなかった。

- (3) 自作した試験紙で実験した。

○ムラサキキャベツの液を染みこませた試験紙で最も鮮やかな色の変化があり、判別しやすかった。

4 実験のまとめ

- ・身の回りの液体の液性（酸性・中性・アルカリ性）を確かめることができた。
- ・弱酸性や弱アルカリ性などの液性の判別が難しかった。しかし、試験薬の作り方を工夫したり、試験紙を作ったりしたことで、判別の精度を上げることができた。
- ・授業で学ぶことが生活と深く関わり合っているということがわかった。